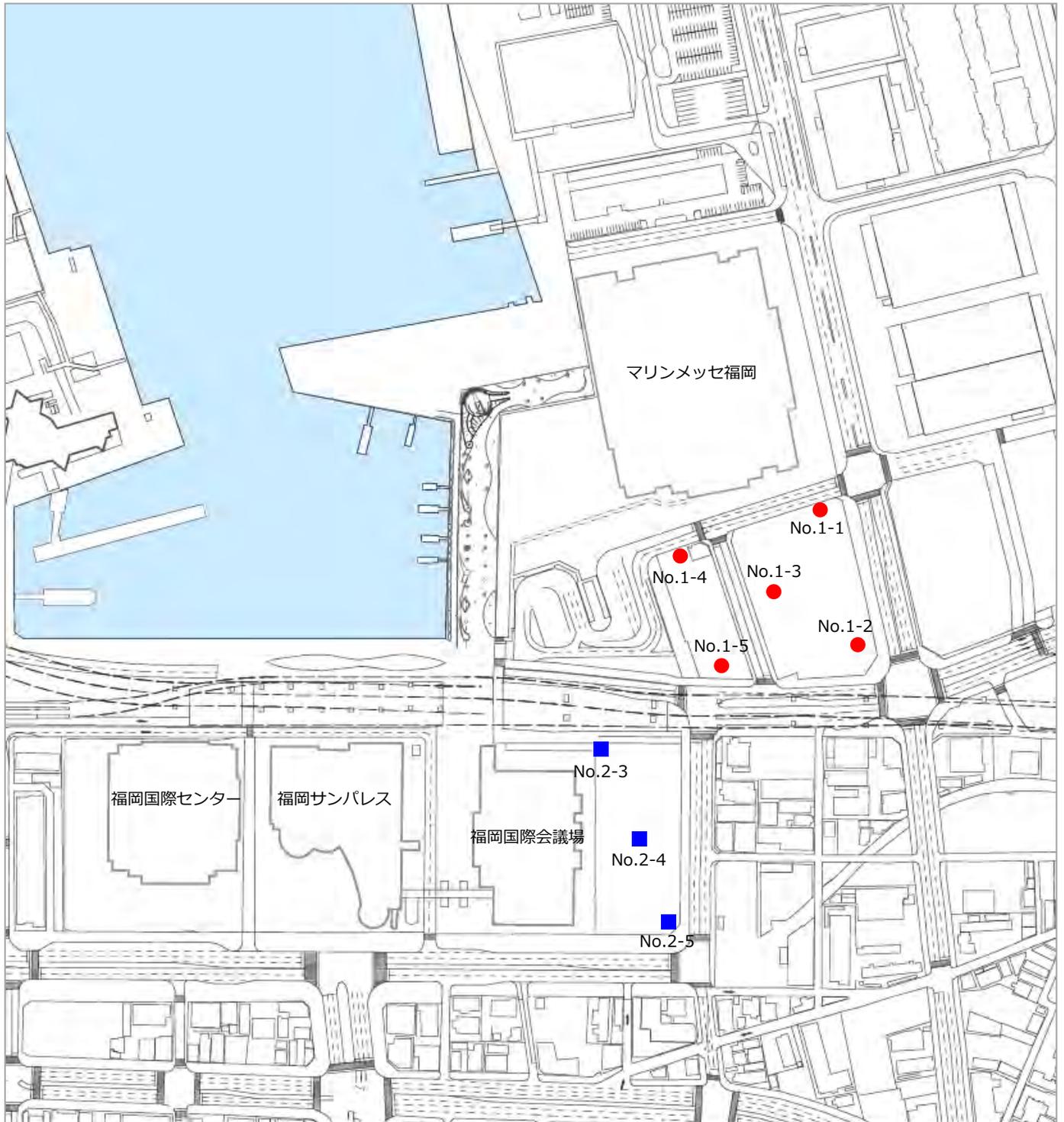


ボーリング調査位置

【別紙06】



縮尺：約1／400

ボーリング柱状図

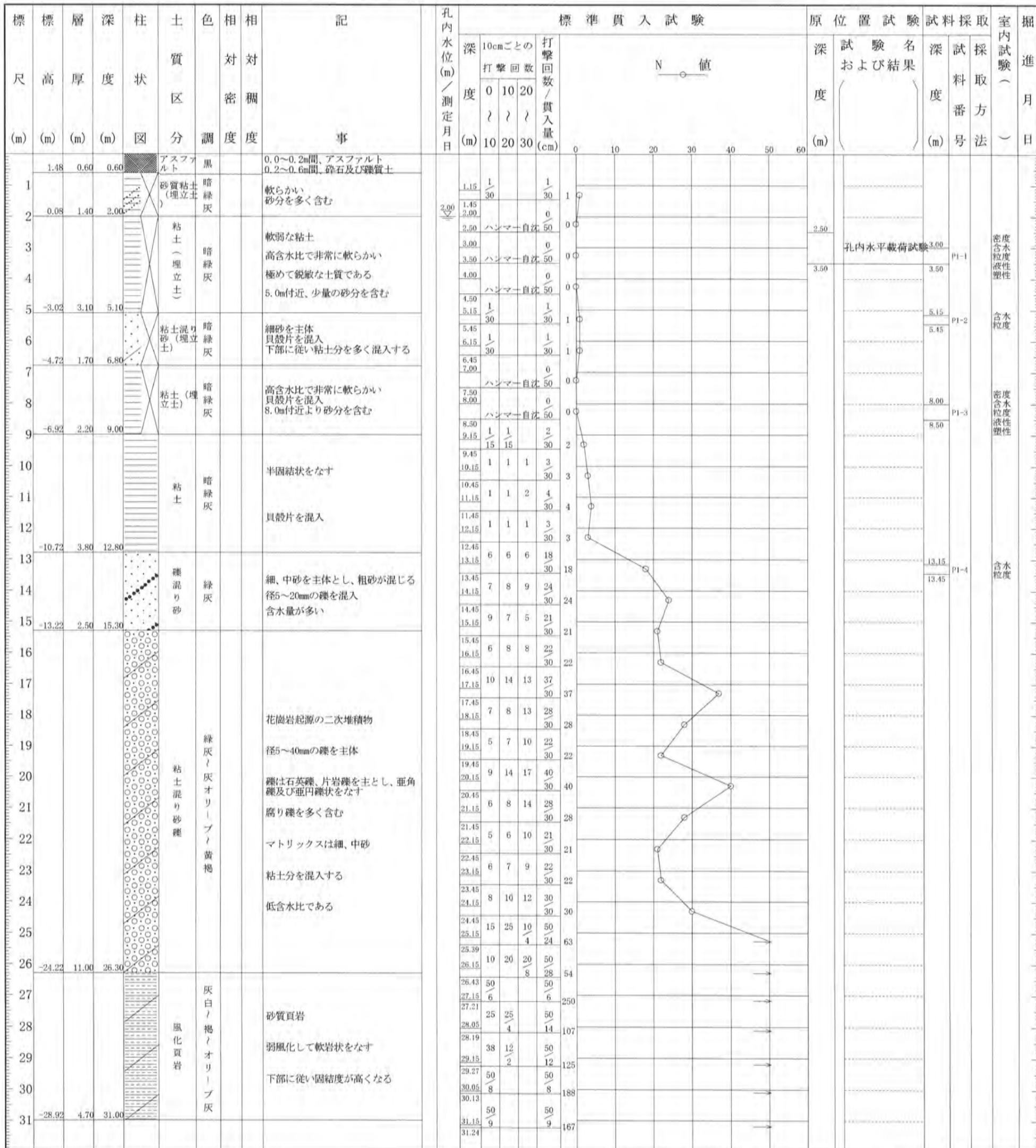
調査名 福岡市コンベンションゾーンにおける地質調査業務委託 (その1)

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1-1		調査位置	福岡市博多区沖浜町地内			北緯	33° 36' 25"			
発注機関	福岡市経済観光文化局			調査期間	平成 27年 6月 15日 ~ 27年 6月 18日			東経	130° 24' 12"		
調査業者名	西日本地研株式会社 電話 (092-942-7878)		照査技術者	野田正述		管理技術者	山本和浩		コア鑑定者	山本和浩	
ボーリング責任者	堀博幸										
孔口標高	2.08m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 水平 0°		
総掘進長	31.00m		使用機種	試錐機 東邦地下工機 (株) D0-D型			ハンマー落下用具		トンビ		
			エンジン	ヤンマーディーゼル (株) NS80			ポンプ		東邦地下工機 (株) BG-3型		



ボーリング柱状図

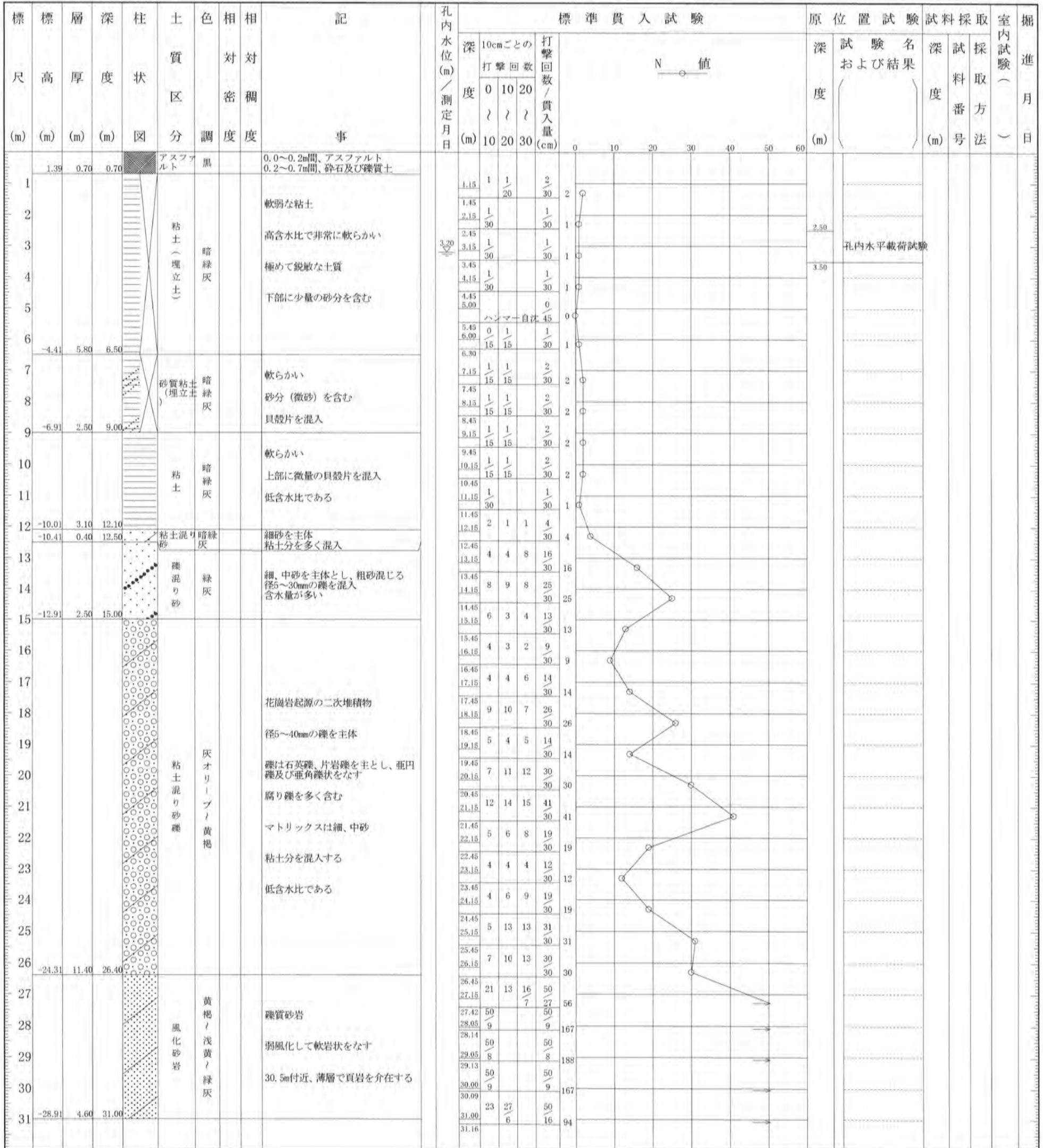
調査名 福岡市コンベンションゾーンにおける地質調査業務委託（その1）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1-3		調査位置	福岡市博多区沖浜町地内			北緯	33° 36' 23"				
発注機関	福岡市経済観光文化局			調査期間	平成 27年 6月 15日 ~ 27年 6月 17日			東経	130° 24' 13"			
調査業者名	西日本地研株式会社 電話 (092-942-7878)		照査技術者	野田正述		管理技術者	山本和浩		コア鑑定者	山本和浩		
ボーリング責任者	平田博文		ハンマー落下用具	トンビ		ポンプ	東邦地下工機 (株) BG-3型					
孔口標高	2.09m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0°		使用機種	試錐機 東邦地下工機 (株) D0-D型 エンジン ヤンマーディゼル (株) NS80		
総掘進長	31.00m											



ボーリング柱状図

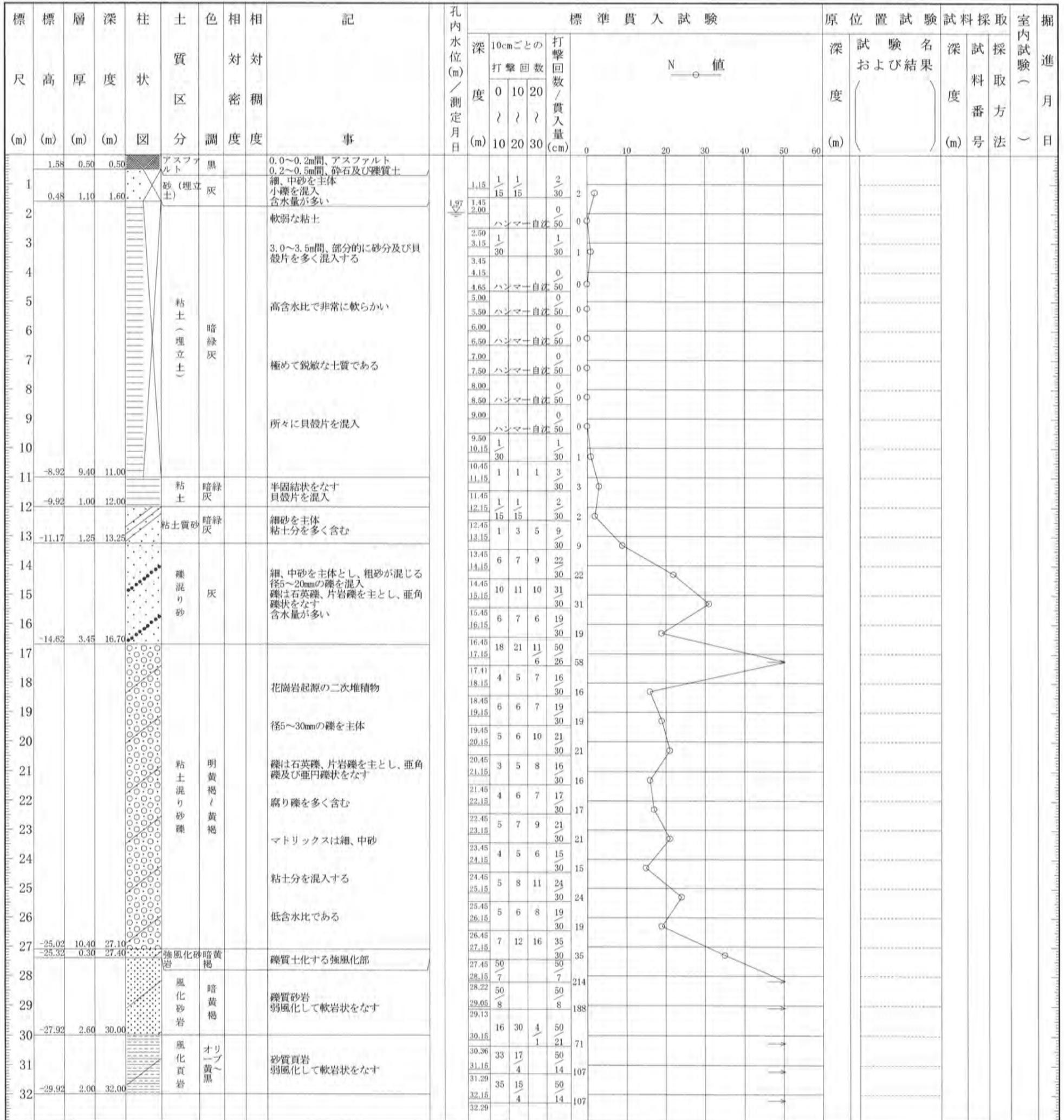
調査名 福岡市コンベンションゾーンにおける地質調査業務委託（その1）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1-4		調査位置	福岡市博多区沖浜町地内			北緯	33° 36' 22"		
発注機関	福岡市経済観光文化局			調査期間	平成 27年 6月 18日 ~ 27年 6月 20日		東経	130° 24' 10"		
調査業者名	西日本地研株式会社 電話(092-942-7878)		照査技術者	野田正述		管理技術者	山本和浩		ボーリング責任者	平田博文
孔口標高	2.08m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0°		使用機種	試錐機 東邦地下工機(株) D0-D型 エンジン ヤンマーディゼル(株) NS80
総掘進長	32.00m	度	0°	向		ハンマー	落下用具 トンビ		ポンプ	東邦地下工機(株) BG-3型



ボーリング柱状図

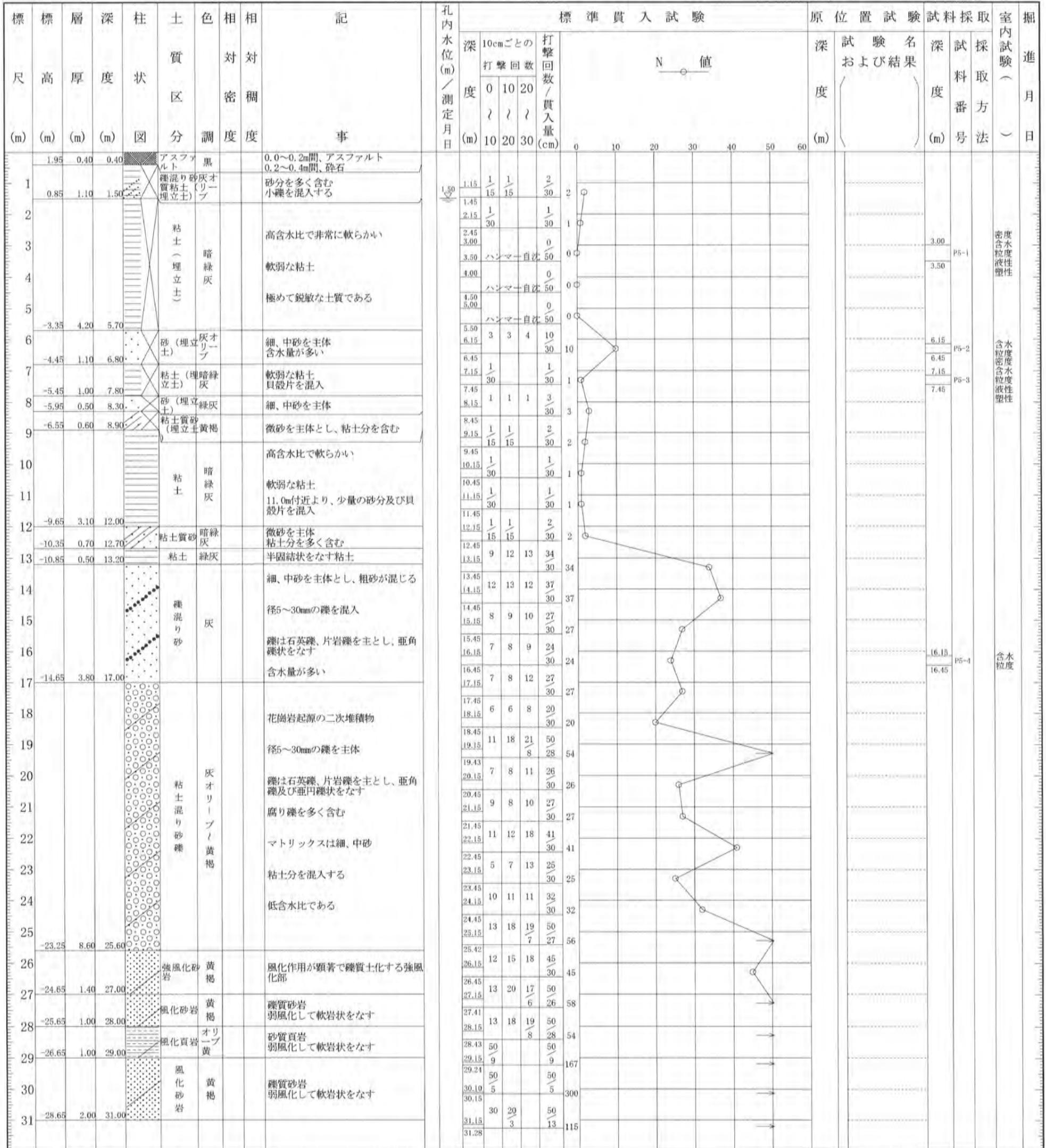
調査名 福岡市コンベンションゾーンにおける地質調査業務委託（その1）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1-5		調査位置	福岡市博多区沖浜町地内			北緯	33° 36' 21"						
発注機関	福岡市経済観光文化局			調査期間	平成 27年 6月 18日 ~ 27年 6月 20日			東経	130° 24' 13"					
調査業者名	西日本地研株式会社 電話 (092-942-7878)		照査技術者	野田正述		管理技術者	山本和浩		コア鑑定者	山本和浩		ボーリング責任者	堺博幸	
孔口標高	2.35m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 水平0°		使用機種	試錐機 東邦地下工機 (株) D0-D型 エンジン ヤンマーディゼル (株) NS80		ハンマー落下用具	トンビ	
総掘進長	31.00m		度	向						ポンプ	東邦地下工機 (株) BG-3型			



ボーリング柱状図

調査名 福岡市コンベンションゾーンにおける地質調査業務委託 (その2)

ボーリングNo 04

事業・工事名

シートNo 01

ボーリング名	No. 2-4		調査位置	福岡市博多区石城町 外			北緯	33° 36' 17.79"			
発注機関	福岡市経済観光文化局			調査期間	平成 27年 7月 10日 ~ 27年 7月 16日			東経	130° 24' 14.68"		
調査業者名	株式会社ジオテック技術士事務所 電話 (092-476-1700)		主任技師	木寺 将仁		現代場人	黒田 隆志		コ鑑ア者	黒田 隆志	
ボーリング責任者	山口 真寛		試験機	東邦地下工機 D0-D型			ハンマー	落下用具			
ポンプ	東邦地下工機 BG-3型			エンジン	ヤンマー NFD-10型						
孔口標高	+2.69m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		
総掘進長	35.00m										

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 (月/日)	掘進 (月/日)	
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値							
1	0.09	2.60	2.60		埋土・礫混じり砂	茶灰〜黄灰	緩い		細〜中砂主体。φ5〜40mm大の礫を含み、基質に少量の細粒分を含む。礫は亜円〜亜角形の花崗岩・堆積岩礫等、多岐に亘り総じて硬質。GL-2.2m以深は中〜粗砂よりなる海砂。貝殻細片を混入。含水量が増加。	7/12 2.20	1.15	3	2	2	7/30	7				
2	-1.71	1.80	4.40		貝殻混じり粘土	暗灰	軟らかい〜中位の		浚渫土砂による埋立粘土。比較的均質な高塑性粘土であり、全体に貝殻細片を多く混入。含水比は中位で現況のコンシステンシーは安定。鋭敏性を有し、練り返しによる強度低下が顕著。	7/15 5.00	2.45	1	1	1	3/30	6	2.15	P2-4-1	物理	7/11
3	-3.41	1.70	6.10		砂質粘土	暗灰	中位の		細〜中砂を多く含む。全体に貝殻細片を多く混入。含水比は中位程度でコンシステンシーは安定。		3.45	2	2	2	6/30	3	2.45			
4	-5.11	1.70	7.80		粘土混じり砂	灰〜暗灰	緩い〜中位の		中〜粗砂よりなる海砂が主体。φ2〜10mm大の石英礫を若干混入。不規則に粘土が介在し、所々で互層を成す。局部的にφ30mm大の礫を混入。		4.45	2	2	2	6/30	6	7.15	P2-4-2	物理	
5	-5.81	0.70	8.50		砂質粘土	暗灰〜黒灰	軟らかい		細〜中砂を多く含む。φ5mm細礫を少量含む。局部的にφ30mm大の堆積岩礫を混入。貝殻細片を少量混入。上部は臭気を有す。		5.45	5	5	5	15/30	6	7.45			
6	-8.81	3.00	11.50		貝殻混じり粘土	暗灰	軟らかい		旧海底面を形成した沖積粘土。比較的均質な高塑性粘土であり、全体に貝殻細片を多く混入。含水比は中位程度で現況のコンシステンシーは安定。鋭敏性を有し、練り返しによる強度低下が顕著。GL-11.0m以深は細砂を若干混入。含水比はやや低い。		6.45	3	2	2	7/30	7	7.45			
7	-11.01	2.20	13.70		礫混じり砂	暗灰	緩い〜中位の		細〜中砂主体。φ5〜10mm大の礫を少量含む。基質は細粒分で充填。貝殻細片を少量混入。含水量はやや多くルーズな状態。		7.45	1	1	1	3/30	3	12.15	P2-4-3	物理	
8	-14.21	3.20	16.90		礫混じり砂	灰	中位の		花崗岩質で比較的淘汰が良い砂層。中〜粗砂主体。φ2〜20mm大の礫を含む。礫は亜円形の花崗岩・石英・花崗岩礫が主体。概して硬質。所々に細粒分を含む細砂がブロック状に介在。		8.45	1	2	1	4/30	4	12.45			
9	-17.41	3.20	20.10		礫混じり粘土質砂	暗灰	緩い〜中位の		花崗岩質で粒径幅が広い。細〜中砂を主体にφ2〜40mm大の礫を若干含む。基質は細粒分で充填。礫は硬質な石英礫及び、風化した花崗岩・片岩のくさり礫。所々、細粒分が卓越。GL-21.0m付近は含水量が多く若干ルーズな状態。		9.45	1	1	1	3/30	3	15.15	P2-4-4	物理	
10	-20.61	3.20	23.30		礫混じり粘土質砂	暗灰	緩い〜中位の		花崗岩質で粒径幅が広い。細〜中砂を主体にφ2〜40mm大の礫を若干含む。基質は細粒分で充填。礫は硬質な石英礫及び、風化した花崗岩・片岩のくさり礫。所々、細粒分が卓越。GL-21.0m付近は含水量が多く若干ルーズな状態。		10.45	1	1	1	3/30	3	15.45			
11	-23.81	3.20	26.50		礫混じり粘土質砂	暗灰	緩い〜中位の		花崗岩質で粒径幅が広い。細〜中砂を主体にφ2〜40mm大の礫を若干含む。基質は細粒分で充填。礫は硬質な石英礫及び、風化した花崗岩・片岩のくさり礫。所々、細粒分が卓越。GL-21.0m付近は含水量が多く若干ルーズな状態。		11.45	2	2	3	7/30	7	17.15			
12	-27.01	3.60	29.70		風化砂岩	褐灰			基盤地質である古第三系の堆積岩。細粒砂岩を主体に所々、含礫砂岩を挟む。風化により岩芯まで褐色化。GL-26.9〜27.7m間は特に風化が強く脆弱化。		12.45	4	4	4	12/30	12	18.15			
13	-27.81	0.80	30.50		強風化凝灰岩	淡褐灰			凝灰岩の強風化部。岩芯まで褐色化し脆弱化。		13.45	8	9	10	27/30	27	18.45			
14	-32.31	4.50	35.00		風化頁岩	暗褐灰〜暗灰			砂質頁岩を主体に所々、細粒砂岩・凝灰岩を伴う。全体に褐色化著しい。GL-35m付近より灰色を帯び岩組織が明瞭。ハンマー軽打で割れる程度の堅硬度。		14.45	9	10	11	30/30	30	19.15			
15											15.45	8	9	9	26/30	26	19.45			
16											16.45	2	3	4	9/30	9	20.15			
17											17.45	9	10	10	29/30	29	20.45			
18											18.45	8	6	5	19/30	19	21.15			
19											19.45	7	8	9	24/30	24	21.45			
20											20.45	3	4	5	12/30	12	22.15			
21											21.45	9	9	9	27/30	27	22.45			
22											22.45	8	9	12	29/30	29	23.15			
23											23.45	6	6	6	18/30	18	24.15			
24											24.45	5	8	9	22/30	22	24.45			
25											25.45	12	17	21	50/6	58	25.15			
26											26.15						26.15			
27											26.41	8	9	11	28/30	28	27.15			
28											27.45	13	21	16	50/3	65	27.45			
29											28.38	39	11		50/13	115	28.15			
30											29.15						29.15			
31											29.28						29.28			
32											30.15	6	10	11	27/30	27	30.15			
33											30.45	50			50/10	150	31.15			
34											31.25	23	27		50/15	100	31.25			
35											32.30						32.30			
36											33.15	13	20	17	50/26	58	33.15			
37											33.41	50			50/5	300	34.05			
38											34.10	50			50/3	500	34.10			
39											35.00	3					35.00			
40											35.03						35.03			

